

ゆるめ家

▶ 理事長のあいさつ

▶ マルチスライスCTの導入ご報告

▶ 当院での取り組み

- 院内学会
- 全日本病院学会

▶ ご報告

- 遠足／透析室
- 遠足／通所介護 いこいの家

▶ 編集後記



● 病院理念

信頼される医療・保健・福祉を提供し、地域の健康増進に貢献する

● 基本方針

良質な医療を提供するため、心と技術を磨く努力を惜しみません
患者の権利、尊厳、安全を重視した医療を提供いたします
医療、福祉と連携を持ち、急性期医療から在宅医療まで、全員参加で取り組みます

● 理事長のあいさつ

長い夏が終わり、ようやく冬になった感じがします。今年4月の医療・介護ダブル改定は、事前に準備されていた方針に基づいて行われたのですが、実施する段階で不具合が生じたり、情報が錯綜したりで、医療の現場はしばらく混乱の極みでした。いつものことですが、疑問点に対して十分な回答が得られなかったり、医療を行う我々には、全くインフォームド・コンセントされない不思議な世界です。

安倍内閣において、「教育再生委員会」が設置され、教育問題の論議がされています。戦後の日本の経済成長は、当時の教育と不可分であると分析されていますが、バブル崩壊後、グローバル化の厳しい競争により、「勉強して良い企業に入れば安泰」という神話は揺らいでしまいました。現在の教育の現場では、モラルの低下、無気力の風潮が見え隠れしています。

医療・介護を提供する我々医療人は、「人間」を相手とするので、このような風潮は禁物です。日々「感性」を磨くよう自己研鑽する必要があります。今年はこのような観点から、はじめて院内学会をおこないました。全職員がなんらかの形で取り組んだ課題を発表し、だれもが達成感を感じました。さらに、全日本病院学会に演題を発表することで自信もつきました。自らがより高いレベルを目指して、地域の方に喜ばれるチーム医療を実践していきたいと考えます。

平成18年12月 理事長 森 伊津子

● 当院のCT*が新しく『マルチスライスCT』になりました。



『CT』って何？

※CT (Computed Tomography)
コンピュータ断層撮影

放射線などを利用して物体を走査(スキャン)し、コンピュータを使い処理。体の内部構造を輪切りにしたような画像を構成する技術・機器のことです。



① 様々な面の輪切りの画像表示ができます。

メリット

体の情報を収集した後、従来は横断面のみの画像しか得られませんでした。マルチスライスCTでは体の横の輪切り、前後の輪切り、左右の輪切りといった様々な画像表示ができるようになります。

② 検査時間が短縮されます。

メリット

マルチスライスCTは、同時に多断面(スライス)を撮影できることから、撮影時間が大幅に短縮されます。例えば胸部の場合は10数秒で撮影ができ、1回の息止めで検査終了となります。また被曝量も減少します。

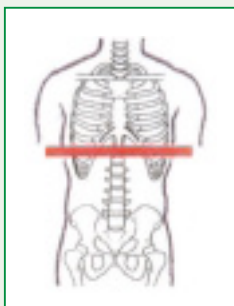
③ より精密な検査が可能となります。

メリット

今までよりも薄い断面を撮影し、その詳細なデータをもとに様々な断面を表示でき、血管や骨、臓器などを立体表示(3D)させることができます。

従来のCT

従来のCTでは横の輪切り(横断面)のみの情報でした。

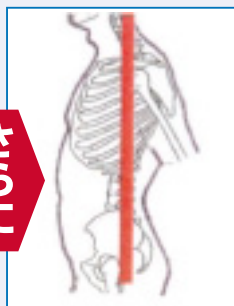


横の輪切り

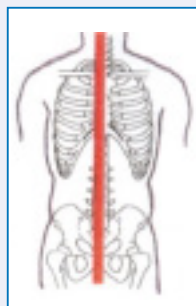


マルチスライスCT

マルチスライスCTでは、情報を収集して、様々な断面の画像表示ができるため、体の中が詳しくわかります。



前後の輪切り



左右の輪切り



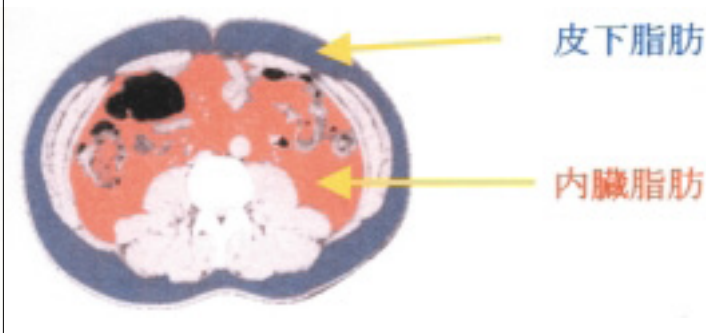
● 当院のCT が新しく『マルチスライスCT』になりました。

④ メタボリックシンドロームを 早期発見!

内臓脂肪型肥満であり、さらに血圧、血糖値、血中脂質のうち2つ以上に異常がある場合を「メタボリックシンドローム」といいます。腸や肝臓などの内臓のまわりに脂肪が蓄積する内臓脂肪型肥満は様々な疾患を引き起こします。内臓脂肪肥満のチェックとして、BMIが25以上、ウエスト周囲径が男性85cm以上、女性90cm以上の方は注意が必要です。命に関わる危険な疾患(狭心症・脳卒中・心筋梗塞・脳梗塞など)を防ぐためにも早い段階での改善が重要となります。自覚症状のあるなしにかかわらずご相談ください。

体脂肪解析で内臓脂肪型肥満がわかります。

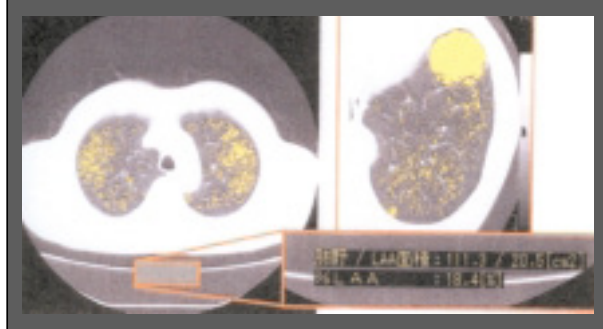
動脈硬化、糖尿病、高血圧といった生活習慣病を起こしやすくするといわれている内臓脂肪型肥満をCT画像から面積を測定し、カラーで表示します。



● その他にもこのようなことができます。

肺の画像解析で肺気腫の検査ができます。

肺気腫は喫煙者で最も高頻度に発生するといわれています。CT画像で低吸収領域をカラーで表示し、肺気腫の進行度が一目でわかります。



その他にも脳血流解析(急性期の血流異常を迅速に診断することができる)や血管解析(血管や腸管などの内部を表示したり、狭窄く狭くなっている)部分をCT検査で確認することができます。

撮影するのみではなく様々な処理や解析で得られた、より詳細な情報は診断に活かされます。検査時間も短くなり、患者様にはより快適な検査に臨んでいただくことができます。

● 当院での取り組み...

● 全日本病院学会・院内学会 教育委員会

教育委員会では、「ケアサービスの向上と人材育成」を目的とし、本年より全職員を対象とした院内学会を開催しました。具体的には、1月中に各人が研究テーマを決め、その後、5ヶ月間テーマについて研究を行い、9月に『永生病院院内学会』で成果を発表しました。

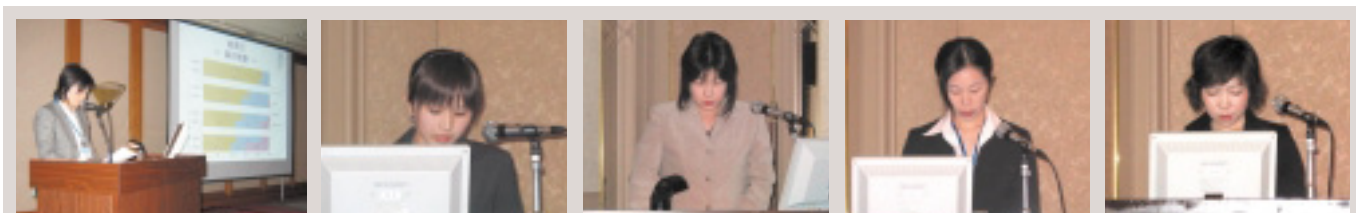
今年は71演題の発表があり、ケアにおける様々な工夫及びその効果、各部署における業務改善の試み等、内容的にも興味あるものでした。

何ぶん、初めての試みで戸惑いもありましたが、無事すべての発表を終え、最優秀賞・優秀賞2題が表彰されました。また、11月に徳島で開催された全日本病院学会において5演題の発表を行いました。

今回の院内学会から全日本病院学会に至る間、全職員においては苦労や緊張もあったと思いますが、これらの事が「ケアサービスの向上と人材育成」に繋がっていくと思います。今後も継続し、より目標に近づきたいと考えています。



院内学会発表会の様子



全日本病院学会の様子

●遠足 ————— 透析室

10月29日(日)、毎年恒例の親睦会を兼ねた遠足で、栗林公園に行きました。

あいにくの曇り空でしたが、患者様・家族の方・スタッフ合わせて22名で広大な庭園を散策しました。



●遠足 ————— 通所介護 いこいの家

10月25日(水)、与島フィッシャーマンズワープにバスで遠足に行きました。

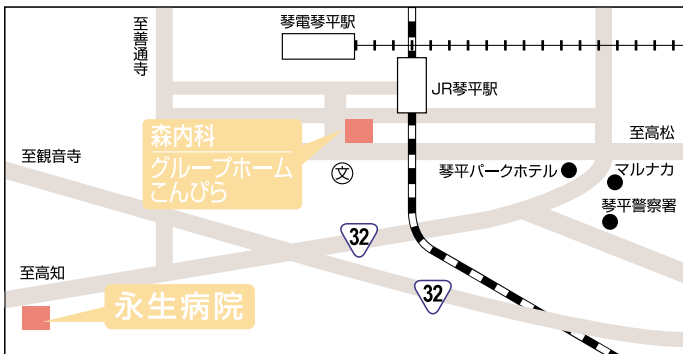
当日は天候にも恵まれ、利用者様25名・ボランティア9名の参加を頂きました。利用者様は、咸臨丸で瀬戸大橋クルージングやベゴニア海花館などを散策したり、家族の方にお土産を買ったりゆっくりとした一日を過ごしました。



【編集後記】

今年4月に診療報酬・介護報酬が同時期の改定、9月には初めての院内学会開催、11月は全日本病院学会発表と、忙しい中にも充実した1年となりました。

来年は、亥の年ということで、尚一層職員一丸となり突き進んでいきたいと思っていますので、今後ともよろしくお願い致します。



医療法人 圭良会

- 永生病院 香川県仲多度郡まんのう町買田221-3
Tel 0877-73-3300
- いこいの森 (訪問看護ステーション・訪問介護) Tel 0877-73-3700
- いこいの家 (通所介護) Tel 0877-73-3718
- いこいの郷 (居宅介護支援事業所・福祉用具貸与事業所) Tel 0877-73-3655
- 森内科 香川県仲多度郡琴平町167
Tel 0877-73-4188
- グループホームこんびら 香川県仲多度郡琴平町167
Tel 0877-73-0811
(認知症高齢者グループホーム)

永生病院 130床(一般病棟 40床・療養型病棟 90床)

永生病院広報誌「ゆるぬき」第7号
 発行元：医療法人圭良会 永生病院
 編集者：医療サービス改善委員会
 住所：〒769-0311 仲多度郡まんのう町買田221-3
 TEL:0877-73-3300
 FAX:0877-73-3202
 永生病院のホームページ <http://www.eisei-hp.or.jp/>
 eメールでのお問い合わせは keiryokai@eisei-hp.or.jp
 発行年月日:平成18年12月20日